

2025 年度



東京都立大学

学問の力で、  
明日を創る。

経済経営学部

Faculty of Economics and Business Administration

# 人間の行動や社会・ビジネスの 発展の源泉を的確にとらえる力を 伸ばします。

## 教育方針

今日の経済活動は、さまざまな要因によりその姿を変えつつあります。社会が秩序を保ちながら進化・発展していくためには、二つの鍵となる調整メカニズムが重要な役割を果たします。一つは、個人の諸行動を価格の変動を通じて自動的に調整する「市場のメカニズム」、もう一つは、経営者が目標と計画に基づいて世の中の利害関係や行動を調整する「組織のメカニズム」です。前者を中心に社会を考察していくのが経済学であり、後者が経営学であるといえます。これらは、よりよい社会や組織を実現するための両輪であり、さまざまな問題を解決するための「政策科学」なのです。本学部では、経済学と経営学の体系的なカリキュラムを通して、教養教育と専門性の高い先進教育を展開します。そして、社会や組織のリーダーとして、社会全体を望ましい姿に導いていく政策立案能力と問題解決能力の涵養を目指します。

## 教育の特徴

POINT

### 2 年次進級時にコースを選択

1

1年次に広く経済学と経営学の導入科目を学び、2年次進級時に経済学コースか経営学コースを選択します。いずれのコースでも経済学と経営学をともに学ぶことができ、幅広い科目を自由に履修できます。

POINT

### 少人数教育により徹底した専門教育を実現

2

2年次に「2年次専門セミナー」を開講、3年次からはほとんどの学生が演習（ゼミナール）に参加。1学年平均6名程度の少人数で専任教員による親身の教育を施します。4年次に卒業論文をまとめます。

POINT

### 第一線の研究者による高度な授業

3

専任教員はいずれも丸の内サテライトキャンパスの大学院において経営学・経済学・ファイナンスの分野で指導を担当している第一線の研究者であり、最新の研究を反映させた授業をしています。



# 履修モデルとカリキュラムの特色

1 年次には広く経済学と経営学の導入科目を学び、2 年次進級時にコース選択をして専門的に学びます。

## 経済学コース

卒業（学位の取得）に必要な単位総数は 124 単位です。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育科目				【二十六単位以上】
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業、総合ゼミナール（2 年次以上履修科目）				
基盤科目群	入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学、経済史・思想入門、統計学Ⅰ、統計学Ⅱ、経営学入門、会計学入門				
専門教育科目群	ミクロ経済学 1 マクロ経済学 1 金融論 1 基礎数学 1 基礎数学 2 データ解析 経済史概論 日本経済史概論 経済思想概論	ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 金融論 2 ゲーム理論 1 ゲーム理論 2 計量経済学 1 計量経済学 2 日本経済論 1 日本経済論 2 企業経済学 金融経済学 日本経済史 現代日本経済史 アジア経済史 ファイナンス 財務会計論 経営科学概論 2 年次専門セミナー	応用統計学 国際経済学 国際金融論 公共経済学 労働経済学 産業組織論 コーポレートファイナンス 財政学 西洋経済史 都市経済史 現代アジア経済史 金融工学 財務諸表論 経営科学 1 経営組織論 財務戦略論 経営戦略論 演習	経済学説史 競争戦略論 金融リスク論 財務情報分析論 経営科学 2 経営行動論 意思決定論 経済経営特別講義 経済学コース特別講義 外国書講読 専門書講読 演習、卒業論文	【七十単位以上】

①経済理論を体系的に学ぶ、②経済活動の発展を歴史的にとらえる、③現実のデータで理論を検証する、という 3 要素を備えたカリキュラムを編成しています。1・2 年次には、教養科目や専門教育科目の導入部である基盤科目を履修した上で、経済学や経済史を中心とした基礎的な専門教育を配置し、それぞれの問題意識や興味、目標に即して設定した研究テーマの専門性を高めていきます。具体的には、日本経済、国際経済、金融、企業行動、経済理論、経済データ分析、経済史、ファイナンス、数学・統計に関する講義を提供します。3・4 年次に参加できる演習（ゼミナール）では教員 1 人に対して学生は 1 学年平均 6 人程度という少人数制を徹底、専任教員のきめ細かい指導のもとで理解を深め、4 年次に卒業論文としてまとめあげます。

## 経営学コース

卒業（学位の取得）に必要な単位総数は 124 単位です。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育科目				【二十六単位以上】
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業、総合ゼミナール（2 年次以上履修科目）				
基盤科目群	経営学入門、会計学入門、入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学、経済史・思想入門、統計学Ⅰ、統計学Ⅱ				
専門教育科目群	経営戦略論 経営組織論 財務会計論 原価計算論 経営科学概論 ファイナンス データ解析 基礎数学 1 基礎数学 2 ミクロ経済学 1	ヒューマン・リソース・マネジメント 組織行動 マーケティング・マネジメント マーケティング・コミュニケーション 管理会計論 経営科学 1 金融工学 コーポレートファイナンス 企業経済学 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 1 金融論 1 ゲーム理論 1 ゲーム理論 2 財政学 2 年次専門セミナー	財務戦略論 競争戦略論 意思決定論 経営行動論 ビジネスイノベーション 財務諸表論 経営科学 2 マーケティング・サイエンス マーケティング・リサーチ 金融経済学 産業組織論 マクロ経済学 2 金融論 2 計量経済学 1 計量経済学 2 日本経済論 1 日本経済論 2 経済史概論 演習	テクノロジー・マネジメント 経営数理 経営史 財務情報分析論 会計制度論 金融リスク論 応用統計学 国際金融論 経済経営特別講義 経営学コース特別講義 外国書講読 専門書講読 演習、卒業論文	【七十単位以上】

企業やビジネスについての理解を深める内容の講義を重視します。1・2 年次には、教養科目や専門教育科目の導入部である基盤科目を履修した上で、経営学、経済学、経営科学、会計学などの基礎的な専門教育を配置し、それぞれの問題意識や興味、目標に即して設定した研究テーマの専門性を高めていきます。具体的には、経営戦略、組織・管理、財務会計、管理会計、経営科学、ファイナンス、数学・統計に関する講義を提供します。3・4 年次に参加できる演習（ゼミナール）では教員 1 人に対して学生は 1 学年平均 6 人程度という少人数制を徹底、専任教員のきめ細かい指導のもとで理解を深め、4 年次に卒業論文としてまとめあげます。

# 経済学コース

Economics Program

経済現象の実態・法則の解明を通して  
経営や行政に指針を与えます。



## ■ コンセプト

経済学コースでは、消費者と企業の行動を対象にした「ミクロ経済学」、国の経済の仕組みを学ぶ「マクロ経済学」、経済データを分析する「計量経済学」、さらに経済と経済学の歴史を学んだうえで、世界と日本の経済に関する幅広い知識とその仕組みについて、理論・データ・歴史の視点から理解する力を養います。社会・経済のさまざまな問題を解決するための能力を培うことで、将来のあるべき政策を立案し、国・自治体、民間企業に適切な指針を与えるリーダーとして、あるいは深く経済学を探究する研究者として活躍する人材を養成します。

## ■ 求める学生像

①経済学について体系的・理論的に学びたいと考えている人、②経済の原理を解き明かすための勉学に取り組みたい人、③大学で身につけた知識や知見を社会活動に活かし、社会に貢献したいという気持ちのある人、④ゼミナールや講義、その他大学における活動を通して、仲間と交流することにより、自己を研鑽しようという意欲にあふれる人、を歓迎します。

## ■ 分野紹介

### 理論経済学

Theoretical Economics

- ・ミクロ経済学 1・2
- ・マクロ経済学 1・2
- ・ゲーム理論 1・2 など

### 応用・計量経済学

Applied Economics and Econometrics

- ・日本経済論 1・2
- ・公共経済学
- ・企業経済学
- ・計量経済学 1・2 など

### 経済史・思想

Economic History

- ・経済史概論
- ・日本経済史
- ・西洋経済史
- ・アジア経済史 など

## ■ 授業紹介

### ゲーム理論 1

渡辺 隆裕 教授

ゲーム理論は、企業の競争や国家の交渉など、2人以上の「プレイヤー」の競争や協力を「ゲーム」と考え、数学のモデルで分析する学問です。経済学や経営学のさまざまな分野で使われる基本の理論です。講義では、身近な出来事を題材にし、時にはそれを実験しながら、ゲーム理論の基礎を学んでいきます。



### 計量経済学 1

暮石 渉 教授

計量経済学では、統計や計量的手法を駆使して、経済現象を解析し、理論とデータを結びつける方法を学び、経済データの分析や予測、政策評価を行うスキルを身につけます。実践的な演習を通じて、計量モデルの構築や統計ソフトウェアの使い方も学びます。計量経済学の知識は、産業・金融・政策分析など、さまざまなキャリアにおいて役立ちますので、ぜひ積極的に学んでください。



### 経済史概論

岩間 俊彦 教授

モノやサービスを作り、それらを分配しながら、私たちは豊かさを実現してきました。このような経済活動で最も重要なことは何ですか。情報技術の形成ですか、産業革命ですか、農業の誕生ですか。この授業では、当たり前と考えられている過去の経済社会の特徴を再考し、学生と教員の対話を交えながら学びます。



## ■ 在学生インタビュー

### Q. 経済学コースを選択した理由は？

A. 日々変化する世界の経済状況を論理的に解釈する力を習得したいと思ったからです。  
実際にアメリカや日本で行われている経済政策の意義を理論や法則、モデルを用いて説明し理解することが面白いと思いました。

### Q. 経済学コースの魅力は？

A. 経済学だけではなく、経営学に関する講義も履修できる点が魅力です。私は経済学コースを選択しましたが、経営戦略とマーケティングの講義も履修しました。経済学だけでなく経営学も学ぶことにより、多角的な視点から経済を捉えられるようになったと思います。

### Q. 受講して面白かった講義は？

A. 国際金融の実務・政策の講義です。この講義では、前期に経済理論の基礎を学んだ後、その理論を用いて現在の世界経済を分析しました。後期には、金融政策を担当された方々、経験を積んだ実務家の方々に講義に毎回お招きし、実務面についての知識を深めました。この講義に携わる教授や講師の方々は、日本金融界の最前線で活躍しているため、言葉の一つ一つに形容しがたい臨場感と重みがありました。

### Q. 成長を実感したことは？

A. 自分の言葉で表現できる力を身につけられたことです。単に経済理論を学ぶだけではなく、それを使って分析も行うことで、目まぐるしく変化する各国の経済を自分の言葉で説明できるようになりました。このように、ただ教わったことを暗記するのではなく、それを人に分かりやすく説明できるまで理解する能力は、これから先の人生でも重要になってくると思うので、大学生のうちに身につけることができよかったです。

### Q. 将来の夢は？

A. 金融機関で働くことを希望しています。大学で身につけた経済学の知識が実務にどれほど直接的に役立つかは分かりませんが、思考力、協調性、忍耐力などは重要になると思うので、ゼミ活動などを通してそのような力を養っていきたいです。

経済学コース

内田 大士 さん  
(2022 年度入学)



### 2 年次の時間割

	月	火	水	木	金	
1	前期	基礎英語	経済学説史			
	後期	基礎英語	経済思想概論			
2	前期	西洋経済学	ゲーム理論 1	ヒューマンリソース・マネジメント		
	後期	財政学	ゲーム理論 2	労働経済学	国際経済学	
3	前期	計量経済学	企業経済学	マーケティング・マネジメント	マクロ経済学 2	基礎英語
	後期	日本経済史概論	経営戦略論	マーケティング・コミュニケーション		基礎英語
4	前期	応用統計学	原価計算論		国際金融の実務・政策 1	ミクロ経済学 2
	後期		経営史		国際金融の実務・政策 2	哲学 B

## ■ 演習（ゼミナール）の主なテーマ

### 【理論経済学】

企業経済学とコーポレートファイナンス／メカニズムデザインとミクロ経済学／ゲーム理論とモデル分析 など

### 【応用・計量経済学】

日本経済の現状と課題／経済成長と金融論／統計理論とRによるデータ解析／数学・ファイナンスと金融証券市場 など

### 【経済史・思想】

グローバル化・都市・格差から見た世界経済の歴史／アジア経済の歴史と現在／経済学の古典から経済と社会を考える など

## ■ 演習（ゼミナール）紹介

### 計量経済学

暮石 渉 ゼミナール



学生は最新の経済学研究論文に触れます。まずは一般向けのダイジェスト版記事を用い、興味のある図表を各自が選び、統計学や計量経済学の観点から分析します。その後、ミクロ経済学やマクロ経済学の議論を踏まえ、日本の状況への応用を検討し、データ収集や実証分析を行います。最終的には卒業論文の執筆につなげます。

### Student Voice

佐々木 理玖 さん(2021 年度入学)

ゼミの魅力は、同じ分野に興味を持つ仲間達と共に、協力やアドバイスしながら研究に取り組めることです。自分の好きなテーマで研究ができる点も魅力です。ゼミでの活動を通して、物事を多角的な視点で捉えて考える力が養われると考えます。



### 日本経済史

小林 延人 ゼミナール



近世後期から昭和初期（19 世紀後半から 20 世紀半ば）ころまでの日本を対象として、財政・金融・商業・流通などさまざまなトピックを扱います。本学部には珍しく数式をあまり使わないゼミですが、その分論文講読と史料読解に深く取り組み、卒業論文執筆の準備を進めていきます。

### Student Voice

関根 旺河 さん(2022 年度入学)

ゼミでは少人数での講義を活かし、先生や学生と密なコミュニケーションを取ることができます。議論をしておくことで、自分にはなかった発想や意見に触れることができるため、深い学びが得られます。歴史が好きな人には向いているゼミだと思います。



# 経営学コース

Business Administration Program

企業をはじめとした組織の役割・戦略を科学的に研究・考察していきます。



## ■ コンセプト

経営学は、現代の産業社会の基礎的構成要素である企業を対象として、企業組織や産業社会の構造やその行動のメカニズムを明らかにする学問です。経営学コースでは、企業やビジネスがどのように成り立ち、いかにして行動するかを理解し、分析する能力を身に付けることを目標としています。企業が社会の中で大きな役割を果たす現代社会において、皆さんが活躍するための必要不可欠な能力を磨くこととなります。将来は企業を動かすリーダーとして、あるいは深く経営学を探究する研究者として活躍する人材を養成します。

## ■ 求める学生像

①企業や経営について体系的・理論的に学びたいと考えている人、②国際的な視点から企業経営を考えてみたい人、③新しい事業を起こしたいというベンチャー精神にあふれた人、④大学で身につけた知識や知見を社会活動に活かし、社会に貢献したいという気持ちのある人、⑤ゼミナールや講義、その他大学における活動を通して、仲間と交流することにより、自己を研鑽しようという意欲にあふれる人、を歓迎します。

## ■ 分野紹介

### 経営戦略

Corporate Strategy

- 経営戦略論
- 財務戦略論
- テクノロジー・マネジメント など

### 経営組織

Management Organization

- 経営行動論
- 組織行動
- 意思決定論 など

### 経営科学

Management Science

- 経営科学概論
- 経営科学 1・2
- 経営数理 など

### マーケティング

Marketing

- マーケティング・マネジメント
- マーケティング・サイエンス
- マーケティング・リサーチ など

### 会計学

Accounting

- 財務会計論
- 管理会計論
- 財務情報分析論 など

## ■ 授業紹介

### ヒューマン・リソース・マネジメント 西村 孝史 准教授

この授業では、企業が処遇、人材育成といった人事施策を用いて働く人々に企業の目標達成に貢献してもらう方略とその背後の考え方を学びます。授業ではAI、ダイバーシティ等の話題について学生がスマートフォンで参加する方式を一部用いて楽しく学べる授業をしています。



### 組織行動 高尾 義明 教授

企業をはじめとした組織という器のなかで人がどのように行動するかを研究する組織行動論を学習することを通じて、よりよい組織づくりを考えます。モチベーション、リーダーシップ、グループ・ダイナミクスといったテーマを取り上げ、毎回グループディスカッションを交えた双方向的な授業を行っています。



### 経営科学概論 山下 英明 教授

経営科学概論では、経営科学の手法のうち、ある制約のもとで目的関数を最大または最小にする数理計画問題を中心に学習し、その解法について本質的に理解します。また、実際の問題を数理モデルにモデル化し、最適解を求めるグループ学習を通して、経営活動において生じる問題を科学的に意思決定する能力や論理的思考力を育成します。



## ■ 在学生インタビュー

### Q. 経営学コースを選択した理由は？

A. 入学当初から企業や人にフォーカスしてビジネスを学びたいと考えていたため、経営学コースを選択しました。意志決定や組織論など社会をつくり、支えている企業がどのように活動しているかを学問として学ぶことができる点に魅力を感じています。

### Q. 経営学コースの魅力は？

A. このコースでは、個人の考えを重視する講義が多く、学生が疑問を持ち、主体的に学ぶことができる点、実例を用いた講義を通じて実用性の高い学びが得られる点が魅力だと考えています。また、幅広い分野について学べることも魅力の一つです。

### Q. 受講して面白かった科目は？

A. 2年生の前期に履修した“意志決定論”です。個人や企業がさまざまな場面で行う意志決定がどのようなプロセスで行われているか、どのような影響があるのかを学んでいく講義です。実際に学んだことが日常でも用いられていることが実感でき、学んだことがすぐ身近に感じられることが魅力です。講義でも実際に考える時間も多くのように企業や社会に取り入れられているか知ることができました。

### Q. 成長を実感したことは？

A. 大学入学後、主体的に動くこと、日常に疑問を持つことができるようになったと思います。大学の講義や課外活動で自身の考えを発信し、コミュニケーションを取る力を養うことができました。また、経営学では身近に取り入れられているものも多いため、「なぜ？」を考える力がついたと思います。

### Q. 将来の夢は

A. 企業経営に携わり、企業を支える仕事がしたいと考えています。就職活動でも自身の希望を実現することができました。卒業後もここで学んだことを活用して社会人として学び続けて常に成長していけるように全力で挑戦していきたいと思っています。

経営学コース

山口 幹太 さん

(2021 年度入学)



### 2 年次の時間割

		月	火	水	木	金
1	前期	基礎英語				
	後期	基礎英語				
2	前期	臨床心理学概論	ゲーム理論 1	経営科学 1	現代青年と心理	
	後期	日本経済論 II	ゲーム理論 2	労働経済学	国際経済学	競争戦略論
3	前期		意思決定論	マーケティング・マネジメント	財務戦略論	基礎英語
	後期		経営戦略論	マーケティング・コミュニケーション	経営行動論	基礎英語
4	前期			管理会計論	原価計算論	ミクロ経済学 2
	後期			財務情報分析論		産業組織論

## ■ 演習（ゼミナール）の主なテーマ

### 【経営戦略・マーケティング】

経営戦略、財務戦略、マーケティング、イノベーションの理論を実践に結びつける演習/ビジネスプランニング、アンケート調査、インタビュー、財務分析、テキストマイニングなどの研究方法 など

### 【経営組織・会計】

企業の戦略的成長とそれを実現する組織革新/人間の意思決定の特質/企業会計制度の構造とメカニズム/管理会計と企業のパフォーマンス など

### 【経営科学】

数理モデル・最適化理論などの経営科学の手法を用いた科学的な問題解決・業務改善・意思決定/ファイナンス理論による金融市場や投資・財務活動の分析 など

## ■ 演習（ゼミナール）紹介

### 管理会計に関するグループ研究

細海 昌一郎 ゼミナール



管理会計に関するテーマについてグループワークによる研究を行っています。学際的なテーマも許容していますが、企業業績との関係を中心に財務データ等を用いた実証的な研究を進めています。研究した内容について他大学とのインゼミもっており、学生のプレゼン力強化にも力を入れています。

### Student Voice

中村 大朗 さん (2021 年度入学)

前期は座学を中心に、研究で用いる統計の基礎知識を身に付けることができます。後期には、様々な論文を参考に、アンケート調査を実施して分析を行うなど他のゼミでは経験できない本格的な研究を行います。また、他大学との発表会で発表できることも本ゼミの大きな魅力です。



### 経営戦略論

松田 千恵子 ゼミナール



経営戦略に関し、理論と実践の双方をしっかり身に付け、将来、経営に携わる基礎力を養います。グループワーク等を通じて議論や発信する力、プロジェクトマネジメントも学びます。学外のコンクール参加や、企業の方々と直接触れ合える機会も多いゼミです。

### Student Voice

長谷川 華穂 さん (2022 年度入学)

松田ゼミは、活動の一環である企業の財務戦略分析が就活にも大いに活かせるなど、就活に役立つ情報や手立てが多いという点が魅力だと思います。また、メンバーの雰囲気も良く居心地がよい一方で、上昇志向のある人が多いので良い刺激を受けられる点もよいと思います。



## 国際交流・留学プログラム

本学は、協定校への留学、海外短期研修、海外インターンシップ、留学英語講座、グローバルな視点を養う講演会等、留学や国際理解に関するさまざまなプログラムを用意しています。協定校への留学は、本学と学生交換協定を結んでいる海外の大学に1年以内で留学できる制度で、交換留学と派遣留学があります。交換留学は本学に授業料を支払うことで留学先の授業料が免除されますが、派遣留学は留学先の授業料を負担する必要があります。ただ、いずれも休学せずに留学できますし、宿舍の斡旋や留学中のサポートが受けられます。海外短期研修は、夏季休暇や春季休暇を利用し、海外の研修先で語学研修を受ける制度です。外国語による実践的なコミュニケーション能力を磨き、グローバル社会への適用力を養うことを目的とします。海外インターンシップは、夏季休暇や春季休暇を利用し、海外における体験型インターンシップを実施する制度です。海外での就労体験を通して、外国語によるコミュニケーションを磨くとともに、その国の文化、社会、経済の理解を深め、国際的視野を広げることを目指します。派遣期間は2～3週間を予定しています。

### 協定校一覧（一部）

レスター大学、キール大学、ノーサンブリア大学、ローマ大学トルヴェルガータ大学、ウィーン大学、ロッテルダム応用科学大学、リール大学、レンヌ第2大学、カイザースラウテルン応用科学大学、ウメオ大学、ヴロツワフ大学、シャウレイ大学、トムスク国立大学（以上、欧州）、エディス・コーワン大学、マッコーリー大学、ニューカッスル大学（以上、オセアニア）、ウイスコンシン大学グリーンベイ校、ニューヨーク州立大学オニオンタ校、マーレイ州立大学、セント・メアリーズ大学、レジャイナ大学（以上、北米）、ソウル市立大学校、漢陽大学校、チュラロンコン大学、タマサート大学、国立台湾師範大学、国立東華大学、国立清華大学、首都師範大学、華南理工大学、マラヤ大学、マレーシア国民大学（以上、アジア）

## 本学からの留学生

### 自ら進んで動くことの大切さ

2023年度交換留学生

小川 哲平 さん（2020年度入学）

留学先：マッコーリー大学（オーストラリア）



皆さんは大学に入学した自分はどんな風になっていると思いますか？サークルや部活に明け暮れたり、図書館にこもって本を読んだり勉強をしたりするでしょうか。実際に大学に入ると高校生の頃には想像の付かなかったようなことがたくさん待っています。本当に自分のやりたいこと、好きなこと、そうしたことを探すのにたくさんの時間を使える最後の時間が大学生生活かもしれません。そんな中、留学に行くということは決して簡単なことではありません。出発する1年以上前から語学試験や書類の準備をしなければならず、それを乗り越えて日本とは文化の異なる世界に足を踏み入れるのです。しかし、日本の外に出ることでそこでしかできない経験や学びを得ることができます。私はトランペットを持ちジャムセッションに参加したことで出会った人々とレストランでの営業演奏を行い日本ではなかなか経験できなかったようなことができました。ただ海外にいて友達を作りなんとなく生きていてはこうした学びは得られなかったと思います。留学という皆さんに与えられる機会はただ海外に行くだけでは意味がありません。皆さんの好きなことや、やりたいことを探したり新しい道を突き進むためにこの経験を存分に活かしてください。

## 本学への留学生

### 国際ビジネスでの活躍を目指して！

経営学コース

銭 世芳 さん（2022年度入学）

出身国：中国



日本に来た理由：私は若い頃にアニメを見始め、日本の文化に非常に興味を持つようになりました。特に、日本特有の考え方や思いやりに感動しました。

東京都立大学を選んだ理由：東京都立大学は、その実力と威信を兼ね備えた大学です。オープンキャンパスや学部のカリキュラムを通じて、多くの興味深い授業を見つけることができました。また、様々なサークル活動や国際交流プログラムも魅力的であり、これらの理由から東京都立大学を第一志望としました。

経済経営学部を選んだ理由：日常生活で出会う様々な業務や事業に興味があり、将来自分で起業することが魅力的だと思ったため、経済経営学部を選びました。勉強を通して、自分の人生の努力の方向性を見つけたいと思います。また、多くの企業やビジネスについての理解を深める講義やゼミを通じて、幅広い専門知識を身につけ、分析能力と問題解決能力を磨きながら成長できると思っています。

大学生生活について：1年生のとき柔道部に入部し、普段の練習や学園祭を通じて、日本の大学部活の強い連帯感を体験しました。学業においては困難も多かったですが、友人たちの支えがあって最後まで頑張ることができました。現在は国際交流サークル「HANDs」の幹部として活動しており、その活動を通じて日本だけでなく世界中の文化を学び、異文化交流のスキルを磨いています。将来は国際的な視点を持ち、ビジネス界で活躍したいと考えています。

## 国際副専攻

本学では、2015年度入試から、国際社会で活躍する意欲あるものを募集する「グローバル人材育成入試(AO入試)」を実施。国際社会の第一線でリーダーシップを発揮して活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。グローバル人材育成入試で入学する学生は、主専攻の科目と並行して、海外留学が必修の新カリキュラム「国際副専攻」の科目を履修します。主専攻の専門知識やスキルを身につけるとともに、確かな語学力やコミュニケーション力を養い、多様な文化に適用可能な実行力を身につけます。さらに、必修である海外留学を通して、多様な文化や価値観に触れ、より広くグローバルな視野を獲得します。

## 国際副専攻の標準的な履修モデル (2年次後期～3年次前期に留学する場合)

		大学院へ進学	グローバル社会で活躍
		本学学士課程 (主専攻)	国際副専攻
4年次	後期	専門教育科目群 (海外取得単位の認定もあり)	Advanced Seminar Special Discussion Seminar Advanced Academic Writing Internship
	前期		
3年次	後期	1年間の留学 海外大学での科目等を履修・単位取得	
	前期		
2年次	後期	専門教育科目群 基盤科目群 教養科目群 基礎科目群	Foundation Seminar Academic English Academic Writing Globalization and Japan
	前期		
1年次	後期	基礎科目群	Academic English Academic Writing Globalization and Japan
	前期		

アカデミック・アドバイザーによるサポート体制

### Student Interview



#### 経営学コース 菊池 和花奈 さん (2022年度入学)

「英語を話せるようになりたい」「将来は海外で働いてみたい」とほんの少しでも考えている人に、グローバル人材育成入試(国際副専攻)はとてもおすすめです。高校生の皆さんの中には、リーディングはできるけどスピーキングはちょっと…という方もいると思います。国際副専攻の授業では、高校で培ったスキルの底上げはもちろん、普段の授業でのディスカッションやプレゼンテーションなどを通して、スピーキング能力の向上が可能です。また、豊富な知識を持つ先生方から、国際的な社会問題に関する広い視野を得る機会も沢山あります。私自身、先生方の授業やアドバイスを聞き、見識が大幅に広がった経験が何度もあります。それに加え、様々なバックグラウンドを持つ同級生との交流は刺激的で、同じ志を持つ仲間として高い意識を持って勉強に取り組むことが出来ます。ここまでの話や説明を聞いてひよっとしたら、ついて行くのが不安…という方もいるかもしれませんが、国際副専攻の授業の中には英語4技能をカバーする授業もあり、先生方もとても親身に相談に乗ってくださいます。国際副専攻の授業を履修することは、自身のキャリア形成や探求心を満たす絶好の機会です。未来の成長した自分を想像しながら、ぜひチャレンジしてみてください!

## インターンシップ

本学では、キャリア教育の体験型科目として、大学生活の早い時期に履修できる現場体験型しごとと研究(実習)を実施しています。前期授業期間に事前学習(全3回)を行い、実習先の事前調査やグループワークに取り組んだうえで、夏季休業期間に5～10日間の現場実習を行います。学生が就業体験に参加することで、大都市の抱えるさまざまな課題や自分自身の課題について認識を深め、これらの課題に主体的に取り組む能力や社会人として必要な基礎的コミュニケーション能力などを自ら要請することを目指します。東京都庁やその関係団体、都内の区や市、企業などバラエティに富んだ実習先の充実度は本学ならではのものです。

#### 事前学習

4月(第1回) 6月(第2・3回)

- 【第1回】プログラムの目的、事前調査方法
- 【第2回】事前調査結果のグループワーク
- 【第3回】社会人マナー、成果報告書の執筆方法

#### 現場実習

8～9月

大都市東京での現場実習  
(東京都、東京都の関係団体、特別区、市、企業・その他法人)

#### 成果報告書の執筆

8～9月

成果報告書の執筆・提出  
実習先での体験を振り返ることで、「大学生活の充実とキャリア形成」に繋がります。

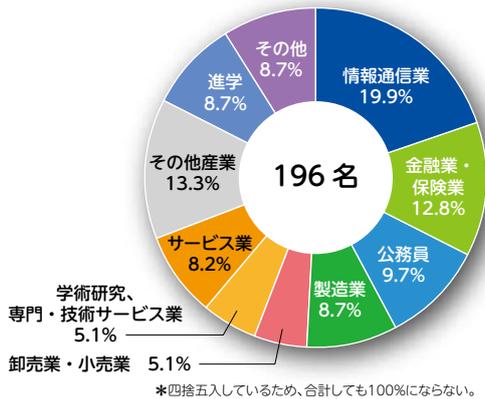
### Student Interview



#### 経営学コース 山田 真鈴 さん (2022年度入学)

当時、私はまだ将来やりたいことが決まっておらず、また働くことに対するイメージも漠然としており、そろそろ就活が始まるというのにそれに備えた準備ができていないままでした。そのため、実際に社会に出て働くことを体験し、働くイメージを具体化することで、自分のやりたいことを見つけるきっかけを作りたいと考え、現場体験型しごとと研究(演習)に参加しました。実習先は、びあ株式会社のHR創造部でした。5日間の就業体験では、本社での実習、神宮外苑花火大会での報道関係者受付の対応業務、他大学のインターン生と企画・立案・プレゼンのグループワークを行いました。特に強く印象に残っているのはグループワークです。企画を提案し、深めていくことの楽しさがわかったのと同時に社員の方のフィードバックにより自分の強みや弱みがわかり、とてもいい経験となりました。この就業体験を通して、今後自分に必要となってくるスキルが明確になり、自分が将来したいことのイメージが少し掴めました。就活について考える上で、この就業体験はとても貴重な体験となりました。

## 卒業後の進路



### 主な就職・進学状況

(2024年3月卒業生実績) \*法人格省略

DTS / KDDI / NTT データ / NTT ドコモ / NTT ファイナンス / PPIH / PwC あらた / あいおいニッセイ同和損害保険 / アビームコンサルティング / オービック / キヤノンマーケティングジャパン / デロイト トーマツ コンサルティング / トランスコスモス / フジシール / マックス / ユニクロ / 三菱 UFJ 信託銀行 / 三菱 UFJ 銀行 / 三菱マテリアル / 三菱商事 / 任天堂 / 住友電気工業 / 大和証券 / 大日本印刷 / UBE / 岩谷産業 / 損害保険ジャパン / 日本カストディ銀行 / 日本コムシス / 日本マスタートラスト信託銀行 / 日本政策金融公庫 / 日本特殊陶業 / 日本航空 / 日本郵便 / 日本郵政 / 日油 / 日立製作所 / 東京電力ホールディングス / 楽天カード / 第一生命保険 / 船井総合研究所 / 内閣府 / 厚生労働省 / 東京都 / 栃木県 / 横浜市 / 総務省 / 関東総合通信局 (総務省) など

進学先: 東京都立大学大学院 / 東京大学大学院 / 京都大学大学院 / 一橋大学大学院

### 島村 勇輝 さん (2019年3月卒業)

**勤務先** 日産自動車株式会社

グローバル購買部門でバイヤーとして世界中から自動車部品の調達をしています。日本だけでなく他拠点の設計・開発、経理や原価部門等の様々な部署間とサプライヤーの調整役を担い、世界中の新車ソーシング活動に寄与できることがやりがいです。

在学時は主に組織や経営戦略に興味を持ち体系的な理論や考え方を学びました。その中で経営学は「企業活動の現場で理論が実践できるのか」が重要であることに気づき、演習では海外でのフィールドワークを通して最前線の企業マネジメントを体感しました。また経営学で学んだことは学内外での様々な活動でも大いに役立ち、双方から会得したリーダーシップ論やマネジメント論は現在の仕事を選択した大きな要因になりました。

経済経営学部では講義・演習やインターンシップ等のプログラムでこうした「生きた経営学」に触れる機会が多く用意されており、在学中・卒業後問わず必ず役立つ学問を学べる学部だと思います。



### 廣岡 純 さん (2021年3月卒業)

**勤務先** キグナス石油株式会社

東京都立大学では沢山の「出会い」が待っています。気の合う友人や尊敬出来る先生はもちろん、興味を引く学問や面白い知識と出会うことが出来ます。私自身、今現在は石油元売りというガソリン等のエネルギーを日本全国に流通させる仕事をしながら、大学で始めたアメフトを社会人チームで続けています。このどちらも大学での出会いをきっかけに始まったものです。

学部ではビジネスイノベーションのゼミに所属しており、スポーツビジネスのビジネスモデルの研究を行っていました。米国の大学スポーツの予算が日本の大学スポーツと比べて桁違いに大きく、スポーツビジネスでいかにお金が動いているのかに興味を持ったのがきっかけです。スポーツ団体が活動する上で必要不可欠なお金の集め方が、日本と米国でどれだけ違うのかを調べ、卒業論文としてまとめました。

我々の日常生活の中に隠されたビジネスを面白いと感じたことが、石油のようなインフラ業界を志望したきっかけのひとつです。東京都立大学での「出会い」が皆さんの人生をより良いものにすることを願います。



## 大学院 経営学研究科 Graduate School of Management

**【博士前期課程】** 入学定員：50名  
学位：修士 経営学 (MBA)、経済学、ファイナンス

**【博士後期課程】** 入学定員：5名  
学位：博士 経営学、経済学

首都東京には、我が国を支える主要な大小の企業が集積し、新しい企業を創業していく潜在力があります。それを現実の活力に転換するためには、組織を動かす高度な能力を有する経営管理者・起業家の養成が欠かせません。また、経済活動の仕組みも日々変化する中で、ビッグデータの蓄積とともに高度な経済学やファイナンスの専門的知識を用いた経済分析や金融リスク管理などが求められています。経営学研究科では、これらの社会的要請に応えるために高度な研究水準を維持し、その成果を博士前期課程および博士後期課程において学術的もしくは実践的な教育に反映させていきます。特に、博士前期課程では経営学・経済学・ファイナンスの各分野に教育プログラムを設置しています。

## 経済学と経営学を学修し、経済・社会の問題解決力を培う

本学部は国公立大学としては唯一、「経済経営学部」という名称を冠しています。経済学は市場を通じて供給される生産物やサービスの量や価格、企業や個人の収入、さらに国際経済の動きにどのような法則性があるのかを解明する学問であり、経営学は企業内部の仕組み、戦略的な意思決定、企業と社会との関係を学び、社会と調和した企業経営のあり方を模索する学問です。このように相互関連した学問分野である経済学・経営学をともに学修することで、世界および日本の経済についての幅広い知識やそのメカニズム、ならびに企業・ビジネスについての幅広い知識を理解・修得できます。

経済学と経営学の専門科目を幅広く揃えている本学部では、さまざまな履修モデルを提供しており、それをガイドラインにすることで学生は自分の興味に従いつつ体系的な学修を進めることができます。1年次からいくつかの専門教育科目も履修し始めますが、経済学コースと経営学コースのいずれかを選択するのは2年次への進学時です。2年次の後期には2年次専門セミナーが配置されており、専門分野の基礎力を養成します。3年次にははいよいよ演習（ゼミ）が始まります。ゼミは本学部の教育の核とも言えるもので、少人数制で担当専任教員の親身の指導により専門的な研究に深く分け入ります。またゼミでは単なる研究の場を超えて教員や他の学生との豊かな交流があり、そこから人生の糧を得ることができます。最終学年である4年次には多くの学生がゼミでの研究成果をとりまとめた卒業論文を執筆します。研究を究めようとするときさまざまな苦勞にも直面しますが、それ以上に充実感と喜びをもたらしてくれます。

本学の特徴の一つである少人数教育を通じて、社会・経済の様々な問題を解決するための能力を培うことで、将来のあるべき政策や将来像を立案し、国・自治体、民間企業において適切な指針を与えるリーダーとして活躍する人材の養成を本学部は目指しています。近年の日本経済や日本企業の経営は必ずしも順調ではありません。地球社会も環境問題や紛争など多くの問題を抱えています。本学部の卒業生が様々な分野で問題発見・問題解決に取り組み、平和で豊かで持続可能な世界の構築のために大いに活躍することを期待しています。



経済経営学部長  
高尾 義明

*Yoshio Takao*

## 入試

経済経営学部では、一般選抜（前期日程一般区分、前期日程数理区分、後期日程）のほか、指定校推薦入試、高校特定型特別推薦入試、グローバル人材育成入試などの入学者選抜方式によって、才能ある多様な人を受け入れます。詳しくは、それぞれの募集要項で確認してください。

### 【一般選抜】

大学入学共通テストのほか、個別学力試験では調査書および下記の試験を課すことにより選抜します。

- ・前期日程一般区分（定員 100 名）・・・3 教科 3 科目（英語・国語・地歴又は数学から 1 科目を選択）
- ・前期日程数理区分（定員 20 名）・・・2 教科 2 科目（英語・数学）
- ・後期日程（定員 20 名）・・・小論文

## 学費（予定額）

2024 年度の学費は以下の通りです。なお在学中に授業料が改定された場合、改定後の金額が適用されます。

入学料：都民 141,000 円、都民外 282,000 円

授業料（二期に分納）：年額 520,800 円

※ 2024 年度より、都内居住者を対象に授業料全額免除制度を導入しています。詳細は、大学案内の『学費・減免・奨学金制度』のセクションをご覧ください。

## オープンキャンパス

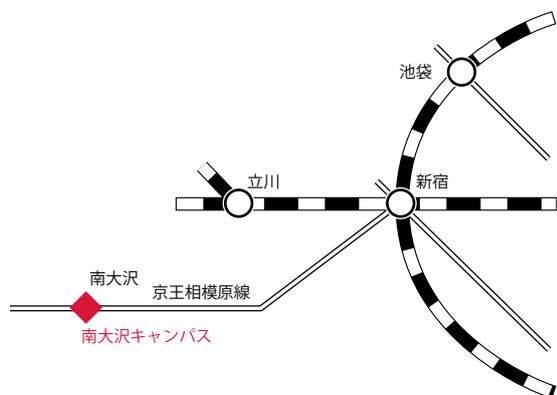
2024 年度のオープンキャンパスは、来場形式と WEB 形式で実施します。

**来場型オープンキャンパス** 8月10日（土）、8月11日（日） プログラム：経済経営学部ガイダンス、学生ディスカッション等  
※事前予約制（予定）です。開催中止及び実施方法、内容等に変更が生じる場合があります。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

**WEB オープンキャンパス** 8月中旬～9月末まで公開予定 プログラム：経済経営学部ガイダンス等

[https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/open\\_campus.html](https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/open_campus.html)

## アクセス



### 最寄り駅から約 5 分

京王線相模原線「南大沢」駅改札口から徒歩約 5 分  
\*改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。

## お問い合わせ窓口

東京都立大学管理部 経済経営学部教務係

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

Email : biz@jmj.tmu.ac.jp

TEL : 042-677-2303

(平日 9:00 ~ 17:00。土・日・祝日は休み)

学部関連等の情報は、ホームページにて随時更新してまいります。

<https://www.biz.tmu.ac.jp>



東京都立大学